

ごあいさつ

事業運営の再構築・強化にむけて、 「競争優位分野へのチャレンジ」を推進します。



代表取締役社長

渡邊 陽一郎

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年を見据えた「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年からスタートした新中期三年V-1計画も一年半が過ぎました。朝日ラバーグループ全体を取り巻く経営環境から、「相互に啓発をしながら衆知を結集して、一步でも先に行く強い意志と惜しみない日々の努力を重ねながら新しい価値

を提供し続ける企業になるべき」と多くの期待をお寄せ頂きました。

これらの期待に応えるべく、重点領域である自動車・医療事業分野は「競争優位分野へのチャレンジ」を掲げて、当社コア技術の応用による新製品受注に向けた活動を活性化させています。更にはコア技術のお役立ちを高めるため、「LEDの光を波長変換する蛍光体を組み合わせ、運転者にとって見えやすく疲れにくい照明の開発」をめざ

して、国立大学法人埼玉大学と連携した共同研究開発を行うことになりました。

ライフサイエンス事業分野は「新市場・新分野への事業展開」を着実に前進させるべく、主にマイクロ流体デバイス関連への積極的な販売活動や増産準備活動を展開しています。また、ライフサイエンス分野や体外診断用途などの医療分野に向けた新規研究開発を活性化させ、コア技術の深掘りにより新たな製品を生み出すために、福島県の「平成27年度福島医療・福祉機器開発・事業化事業費補助金」の補助対象事業として採択を受けて、当社白河工場の隣接地に新工場の建設を開始いたしました。

ただ、これら「収益基盤の再構築」を図るべく明日のメシの種は、しっかりと企業体質の基で育てられるものであり、平成27年上期の実績は未だ道半ばであると真摯に受け止めております。多くのお客様に選ばれる会社になるためにも、事業運営の要となる人財を一人ひとり育みながら、製品や仕組みなどを着実に再構築・強化して、これまで以上にお客様の期待に応え続けられるよう行動力と実現力を磨き続けてまいります。

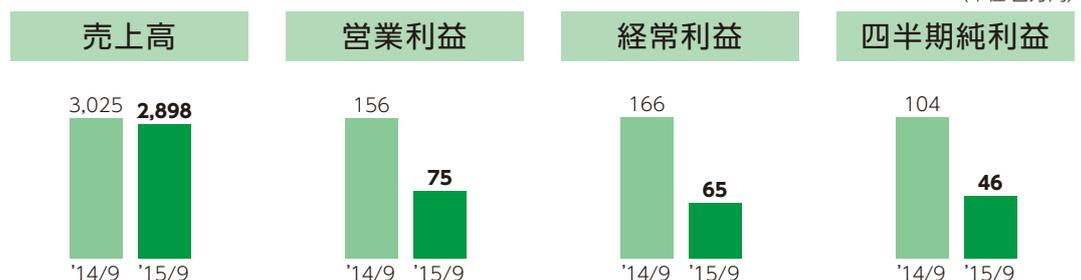
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第46期第2四半期実績 連結財務ハイライト

(単位:百万円)

決算のポイント

ASA COLOR LEDの受注は堅調なもの他の主力製品の販売調整で売上高・利益が前年同期比を下回りました。



自動車用ゴム製品のASA COLOR LEDは、自動車メーカーの販売・生産計画の調整がありましたが、海外向けの受注が増加しました。一方、RFIDタグ用ゴム製品が新機種対応で受注調整が続いていることや卓球ラケット用ラバーと医療用ゴム製品の受注も顧客在庫調整が続いていることから、売上高は前年同期比4.2%減となりました。利益は販売減の影響により前年同期を下回りました。

2016年3月期 重点施策の取り組み

当社独自のコア技術を生かし、工業用ゴム事業として自動車分野、ライフサイエンス分野、その他分野向けに、また、医療・衛生用ゴム事業として医療分野向けに、世の中になかった製品開発に取り組んでいます。

重点事業 PICK UP ①

ASA COLOR LED

① ASA COLOR LEDとは?

蛍光体を配合したシリコンゴム製キャップを青色LEDに被せ、当社独自の色と光をコントロールする技術を駆使し、10,000色以上の均質の光を実現する製品です。自動車のカーナビやオーディオなど内装照明の光源として採用されています。



スピードメーター照明
スイッチ関連
オーディオ関連 など

青色LED+キャップ

青色光の波長を黄色光に変換する蛍光体を含んだシリコンゴム製のキャップを被せ、10,000色以上の色の光を実現します。



② 他社製品との違いは?

競合は白色LEDを光源としたカラーフィルターによって色と光を出す手法です。ばらつきのあるLEDに対して独自の分析手法でLEDを解析し、お客様が求める色と明るさを均一して生産できる点が強みです。

③ 第2四半期以降の見込み

LEDの単価下落により、当社の販売単価も下落傾向にあります。製品の特長をさらに強めて付加価値を高めることで、採用車種の増加による受注数量増加と販売単価の下げ止めを図っていきます。

TOPICS

設備投資について

タクトが早く生産能力の高いLEDの量産設備を導入します。受注数量の増加を見通した導入と生産要員の活人化による新規製品の立上げを進めます。

埼玉大学との共同研究開発

色のばらつきが少なく、視認性に優れると同時に、疲労を低減する効果のある自動車内装照明用のLEDの蛍光体層を埼玉大学と共同研究開発します。この共同研究開発は経済産業省の補助金事業に採択されました。



重点事業 PICK UP ②

マイクロ流体デバイス

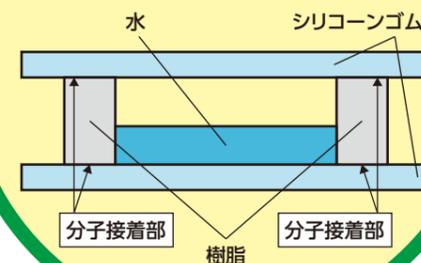
① マイクロ流体デバイスとは?

マイクロ流体デバイスとは、DNAを含んだ血液などの検体を解析する生化学分析デバイスです。当社の製品は、独自の分子接着・接合技術を生かし、DNAの抽出、増幅、解析という複数の工程をワンストップで行うことが可能です。当社のライフサイエンス分野の製品で次の当社を支える柱として経営資源を集中して製品化と量産化を進めています。



分子接着・接合技術

当社独自の分子接着・接合技術は、ゴムと金属、ゴムと樹脂を接着剤などの溶剤を用いずに接着させることができます。



生物学で



犯罪捜査で

ポータブルDNA解析装置



出典：日本電気株式会社HP

医療現場で



TOPICS

新工場を設立します

マイクロ流体デバイスの来期以降の受注状況を踏まえて生産能力を増強させるため、またライフサイエンス分野や体外診断用途などの医療分野に向けて、さらなる新規製品開発を行うため、当社白河工場の隣接地に新工場を建設いたします。完成は来年春以降を見込んでいます。

② 他社製品との違いは?

当社独自の分子接着・接合技術を用いて、デバイスの構造を積層化させることで、DNAを解析するための多様な流路を構成することができます。これにより、複数の工程をワンストップで行うことができます。

③ 第2四半期以降の見込み

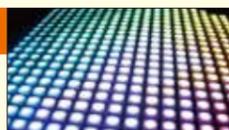
日本電気様向けの犯罪現場での捜査に使用する「ポータブルDNA解析装置」に用いられるデバイスとして、量産数量が拡大してくる見込みです。さらに体外診断など他の開発案件の早期量産化にも取り組みます。

重点事業

PICK UP!

自動車分野

主な製品：ASA COLOR LED、
接点ラバー、防水カバー



ASA COLOR LEDは自動車の内装照明の光源としてさらに拡売を進め、収益の基盤となる利益を稼ぐ当社の主力製品です。また、独自のゴムの配合技術を生かしたスイッチ用のゴム製品の接点ラバーや防水カバーなどが自動車向けに採用されています。

医療分野

主な製品：プレフィルドシリンジ用ガスケット、
採血用・薬液混注用ゴム栓



安全性の高い材料を使用し、ゴムの特性を生かした製品づくりで、医療現場の安全に貢献し、使いやすさを追求したゴム製品を供給しています。さらに次の新製品開発に向けて、要素技術の深掘りを進めます。

ライフサイエンス分野

主な製品：卓球ラケット用ラバー、
マイクロ流体デバイス



卓球ラケット用ラバーは、球を高速で弾く反発弾性や強烈なスピンをかける高摩擦抵抗などを追求した、世界最高品質と性能を持つ製品です。マイクロ流体デバイスは、DNAをはじめ様々な液体や気体を分析する生化学分析デバイスです。当社にとって新しい分野の新製品として本格的に量産化を進めます。

その他分野

主な製品：RFIDタグ用ゴム製品



RFID用ゴム製品は、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグです。特に海外の市場で多くの受注をいただいています。他にもLED基板用の高反射率を実現する白色レジストインクやシリコン製透明レンズなど、当社独自の技術を生かして他社に真似のできない製品を展開しています。

「Decoraしらかわ2015」に出展しました

白河市合併10周年記念事業として、昨年より白河市が開催している祭典「Decoraしらかわ2015」産業フェスティバルが今年10月12日に開かれ、当社も企業情報コーナーに出展しました。地元で根差した企業として地域貢献だけでなく当社の活動、製品について広く来場された方々へPRを行なう機会となりました。

子供からお年寄りまで幅広い年代の方々とふれあうことができました。当社の名前を知っている方がたくさんいらっやって、製品について興味を持っていただけました。

今後も地域に貢献するイベントに参加していきます。



株式の状況／会社概要 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	3,274名

大株主

株主名	(株)	(%) ^{*1}
株主名	持株数	持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	585,500	12.9
伊藤 潤 ^{*2}	226,000	5.0
日本スタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3
株式会社東邦銀行	147,400	3.2

^{*1} 持株比率は自己株式(70,912株)を控除して計算しております。

^{*2} 伊藤 潤氏は平成27年3月13日に逝去されましたが、相続手続未了のため、平成27年9月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

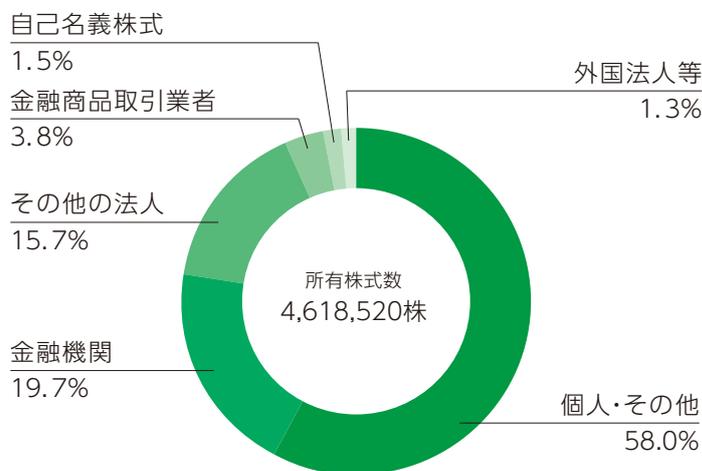
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況



会社概要

商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) http://www.asahi-rubber.co.jp/
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
設立	昭和51年6月(創業 昭和45年5月)
資本金	5億1,687万円
証券コード	5162
正社員数	272名
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
主な事業所	本社：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所／福島工場／第二福島工場／白河工場
役員	取締役会長 横山 林吉 代表取締役社長 渡邊 陽一郎 専務取締役 中沢 章二 常務取締役 亀本 順志 取締役 高木 和久 取締役 滝田 充 取締役(社外) 馬場 正治 常勤監査役(社外) 鈴木 敦 監査役(社外) 埴 雅夫 監査役(社外) 野村 智夫